

No. 1629

都心に進出ビーチバレー

—— 東京 ——

東京・新宿の新都庁を背にしたビルの谷間で女子プロ・ビーチバレーボール選手権が行われました。昨年は江の島の浜辺で開かれたものを都心で人気をより高めようという主催者の考え。千葉県からトラックで80トンの砂代300万円をかけてコートを造成。2000人収容のスタンド、照明設備、32人の選手のギャラなどを含めると総額2億円のビックイベントです。選手達は元五輪選手などが多くカラフルな水着でのハッスルプレーは観衆の人気を呼んでいました。日本で初の高層ビル街での女子プロ・ビーチバレーは新宿の真夏の風物詩としてこれからも続けてほしいものです。

自然を楽しむ

—— 山梨・丹波山村 ——

7月21日から8月20日まで自然に親しむ運動が全国で行われました。東京との県境にある山梨県丹波山村は多摩川の源流にある村で「村おこし」の一つとして昨年からはじめたのが「夏祭り丹波」です。人口1000人の過疎の村で若者たちの都会への流出を押さえ村の復興を願っての村祭り。昨年は台風にたたられ3000人でしたが今年は好天に恵まれ7月28・29日の河原周辺はのべ1万人の人出となりました。カヌー教室、洞くつめぐり、魚のつかみどりなどが子供達に人気を呼べば、一方ます釣り大会も入れぐいとあって大好評。参加者も地元よりも自然を求めて東京からの家族づれが多く主催者もニコリ。村の婦人達のグループ愛育会のメンバーもバーベキュー、煮こみづくりなど裏方さん役で大張り切りです。都心に近い自然を生かしてのイベントづくりはこれからの村おこしに大いに役立ちそうです。